



# 校長室だより No. 4 (令和2年7月22日)

## 今年は一層の猛暑とか・・・

なかなか梅雨明けとなりません。この数年は梅雨といっても雨が少ない年も続いていたので、今年の雨の多さや激しさに気候の異変を実感しています。九州を始め全国のあちらこちらで超災害級の豪雨が続き、被災された皆様には心からお見舞いを申し上げますとともに、早期の復旧を祈るばかりです。春先からのコロナ禍も、ここにきてさらに拡大の様相となり、一向に終息する気配のない中の自然災害は、私たちに不安しか与えないように思われますが、日ごろからのできる限りの対策と備えを改めて強く意識しています。

ただし、今年はいまだに比べて一層の猛暑との予報も・・・夏季休業期間が短くなり一番暑い時期を学校で過ごすこととなりますが、子どもたちの頑張りに応えるべく、暑さに負けない熱い心で乗り越えたいと思います。

## 新型コロナと学校行事・・・

本校・分校それぞれで2学期以降の学校行事などについて、新型コロナウイルス感染症対策や授業時数確保の観点から、その在り方等について検討を進めてきました。各学校からもお便りなどでお知らせしていますように延期や中止、代替行事などの対応を取るものも多くあります。三密を避けることや、外部の方との接触機会の縮小、施設や教具等の消毒などウイルス対策を徹底する必要を踏まえて、

- ①本校及び子鹿園分校の全校一斉で行う体育祭(運動会)は中止します。代替として、普段の学習グループごと等で、保護者の方にも参加いただける体育参観日のような形の授業を実施するよう計画します。
- ②各校の修学旅行については、行先が関東・関西・沖縄など四国外の旅行は中止し、四国内の旅行も、できるだけ感染のリスクを避けるよう日程や行先を見直しました。そのうえで小5・中2・高2の旅行は次年度に延期して計画、小6・中3・高3については、可能な範囲で代替の旅行(日帰り若しくは1泊2日)を計画、または中止とします。ただし、代替の計画の場合も、四国内や本県の感染者の確認状況により中止となる場合もありますのでご了解ください。※他の特別支援学校も同様の対応をしています。
- ③その他の行事についても、随時検討しています。



変更等については、各校・各学部等からお知らせしますのでよろしくお願い致します。

## 学校運営協議会・開かれた学校づくり推進委員会

若草本校の第1回学校運営協議会(6月26日)と子鹿園分校第1回開かれた学校づくり推進委員会(7月3日)を開催しました。それぞれ今年度の取組の進み具合や、新型コロナウイルス感染症の学校教育への影響や若草での対策などについて報告させていただきました。委員の方々からは、特に新型コロナウイルスに関する感染予防策や、中止や延期を余儀なくされている行事について「子どもたちの学習の成果を発信する場、成長の場として、できる方法を工夫して欲しい」などのご意見をいただきました。

国立高知病院分校の医教連絡会、土佐希望の家分校の推進委員会は、6月開催の会議を延期させていただきました。



## 特別支援学校の再編～国立高知病院分校

県立の特別支援学校は、在籍する児童生徒の実態の変化や、人数の推移、社会的なニーズなどに応じた学校設置とするため、これまでに分校の新設や新たな障害部門の設置、通学形態の変更などの再編が行われています。



現在知的障害特別支援学校の児童生徒数増加に伴う対応などが検討されていますが、平成28年度に策定された県立特別支援学校再編振興計画【第二次】では、令和3年度から国立高知病院分校は、若草の分校から高知江の口特別支援学校の分校に移管することが決まっています。

これは日赤跡地北側にある高知江の口特別支援学校が、高知市大原町に移転開校することに併せて、国立高知病院分校が病弱の通学生を受け入れる学校に変わることに伴うものです。ただし、**肢体不自由部門については、これまで同様に重度障害の児童生徒を対象とし、国立高知病院の重心病棟入所者及び自宅通学生を受け入れ、若草本校・分校と連携し、肢体不自由教育の充実や医療的ケア児への対応を充実させていくことにしています。**

## 夏季休業中の学校閉庁期間について

今年の夏季休業期間は、8月1日から26日です。そのうち、**8月11日(火)から14日(金)の4日間は、学校閉庁期間**とさせていただきます。この期間にできる限り教職員がまとめて夏期休暇等を取らせていただくことで、他の期間を校内での研修実施や研修出張、2学期に向けての準備等に集中して取り組めるようにしています。ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

※この期間中の緊急連絡先は以下の通りです。

**本校は、通常通り学校(事務室)にご連絡ください。**